

# THE 2nd, YOKOHAMA URBAN DESIGN INTERNATIONAL COMPETITION

## Theme: Revitalization of the Waterfront

# YOKOHAMA KAIGAN DORI

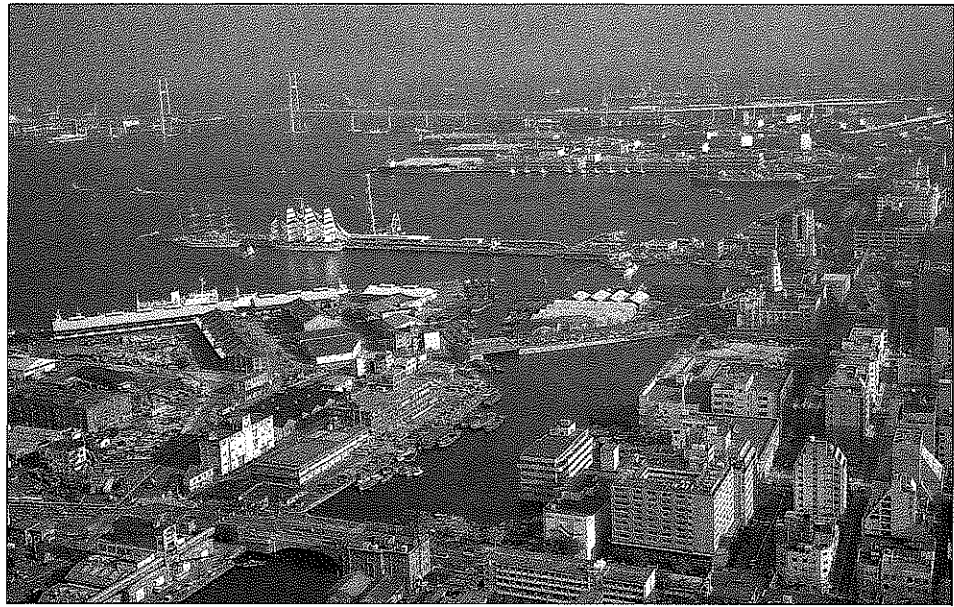
Sponsored by:  
The City of Yokohama,  
Yokohama Urban Design International Competition Executive Committee  
Supported by:  
Architectural Institute of Japan,  
City Planning Institute of Japan,  
The Japan Foundation  
In Cooperation with:  
Lonsal Corp.,  
NYK Line Inc.,  
Shinken-chiku-sha Co., Ltd.

# 横浜アーバンデザイン国際コンペ

## 課題 再生に向けて 横浜海岸通り

### YOKOHAMA

主催=横浜市  
横浜アーバンデザイン国際コンペ実行委員会  
ヨコハマ国際デザインフォーラム準備会  
後援=日本建築学会  
日本都市計画学会  
国際交流基金  
共賛=ロンシール工業株式会社  
協賛=日本郵船株式会社  
協力=株式会社新建築社



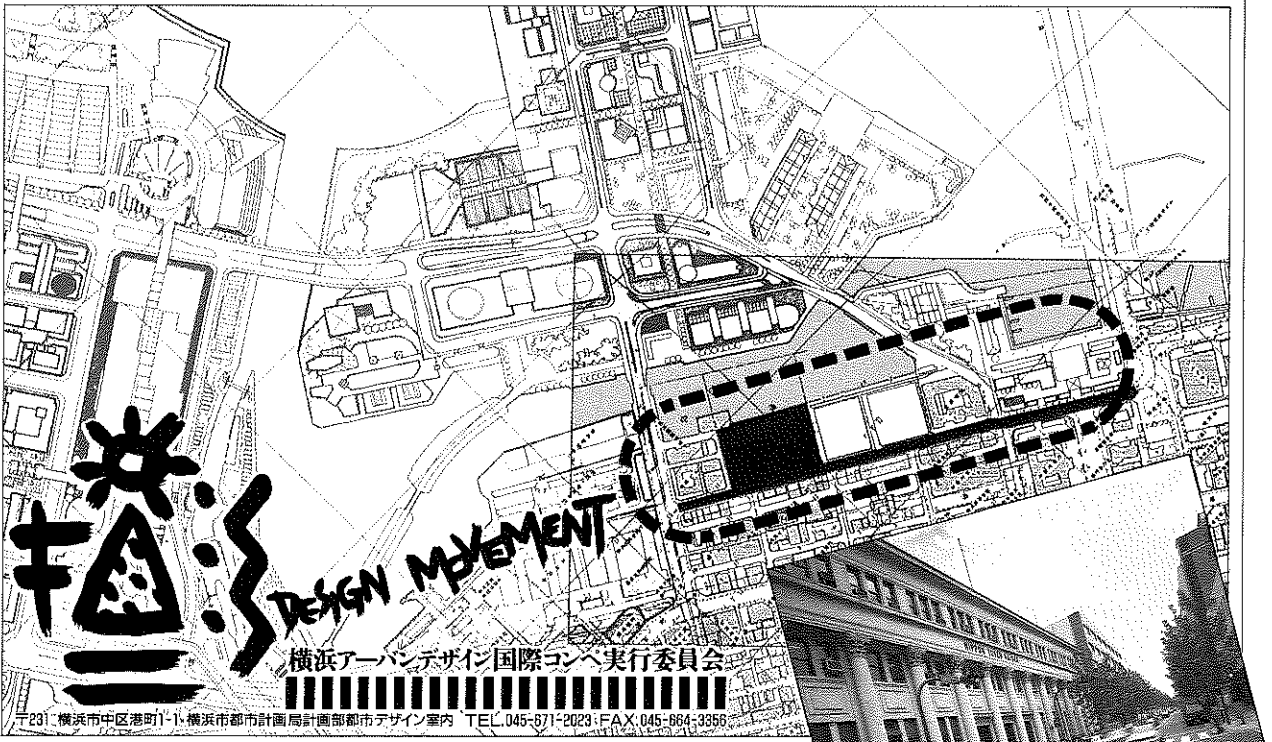
**趣旨** 横浜アーバンデザイン国際コンペは、横浜の都市空間を題材としてこれからの都市のあり方を探り、「都市のデザイン」を提案していただくアイデアコンペで、商店街、道、広場、港など、さまざまな場所をシリーズで取り上げていきます。第一回は、横浜馬車道に敷地を想定し、「建築からまちの姿を考える」というテーマで実施されました。またこれは、「ヨコハマ国際デザイン展(仮称)」へ向けての重要な事業のひとつとして位置付けられています。

**対象地区**  
横浜は、日本の長い間の鎖国に終止符が打たれた幕末一八五九年に開港されました。これにより港湾を中心に都市が形成され、現在では人口三〇〇万人の大都市となりました。  
今回の対象地区である海岸通りは、古くから港湾関係施設や、商社、海運等の企業が集まり、ウォーターフロントの通りとして特色ある地区を形成してきました。現在も日本郵船ビルやライオンビルなどとして知られる横浜税関などの歴史的建造物があり、横浜港の歴史を色濃く残しています。一九七四年には「都心プロムナード」として整備され、横浜市民の関心も高まっています。また周辺の地域において、新たな都市づくりの動きも見られます。特に運河を挟んだ新港埠頭を含む地区では、「みなとみらい」という新しい都心計画が進められており、従来の都心部である「関内」とこの新都心をつなぐ位置に「この海岸通りはあります。」

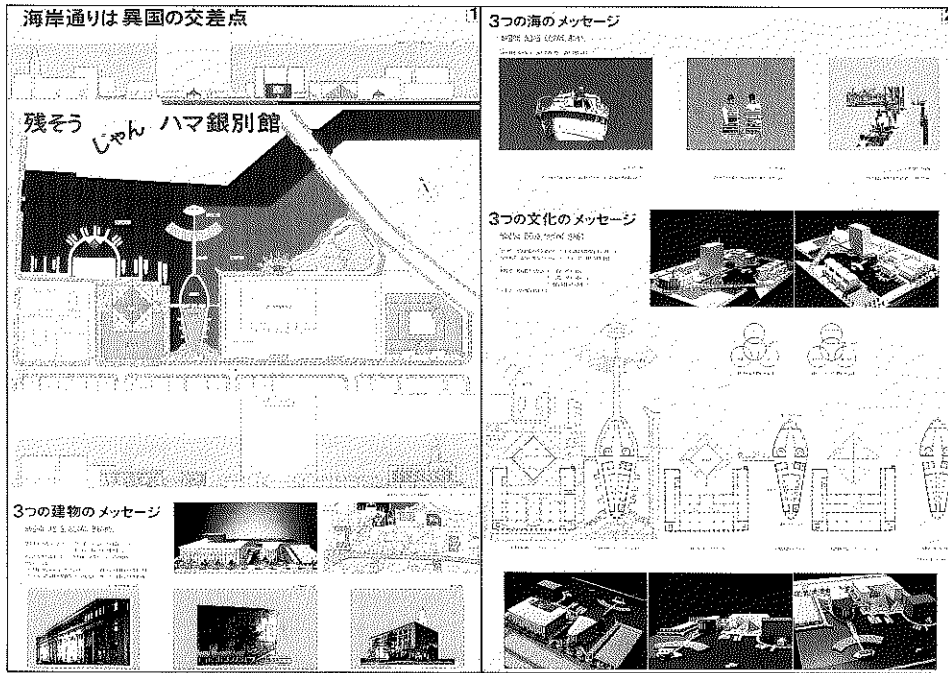
**アーバンデザイン・コンペ**  
かつて栄えたウォーターフロントの再生には、その歴史的価値をどう踏まえるかがポイントになります。近年、ウォーターフロントの開発や再開発が盛んに行われていますが、それらが指摘された課題や反省点を踏まえて、「人と水」「建築と水際」「都市と港」などの新しい関係を示したアーバンデザインのプランを求めたいと思います。  
海岸通りとその周辺地区の開発コンセプト、水際デザインの連続性などについて、アーバンデザイン・コンペにおいて自由に提案して下さい。

**核施設の計画**  
日本郵船横浜ビルとその周辺を想定敷地として、右記アーバンデザイン・プランと連係した魅力的な核となる施設を自由に計画し、提案して下さい。  
想定敷地の現況については、歴史的建築物を含めた建築及び利用形態を別図と写真に示しますので、参考にしてください。

- 審査委員長 榎文彦 (建築家)
- 審査委員 荻原敬 (アーバンデザイナー)
- 陣内秀信 (建築家、都市工学、法政大学教授)
- シー・ユー・チェン (建築家、ロケータ)
- リチャード・ヘンダー (カマフラデザイン)

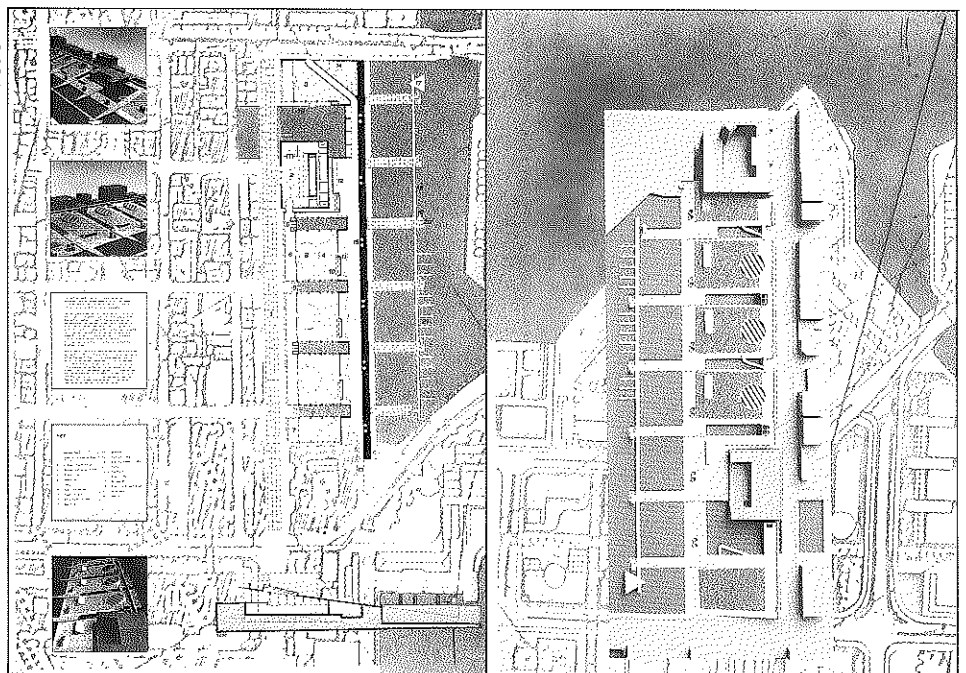


横浜アーバンデザイン国際コンペ実行委員会  
〒231 横浜市中区港町1-1 横浜都市計画局計画部都市デザイン室内 TEL.045-571-2023 FAX.045-864-3355

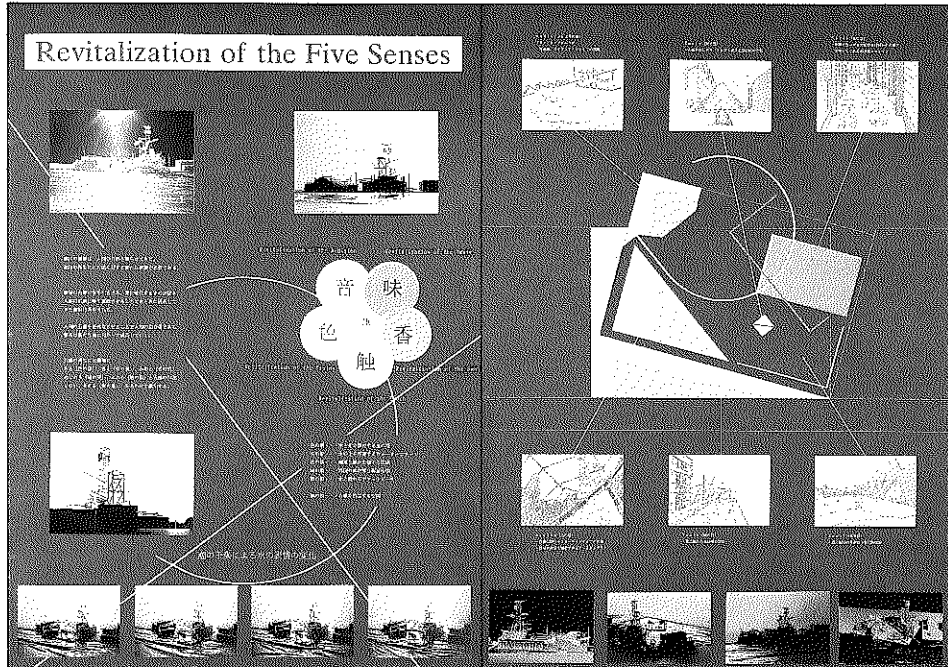


横田修三+長友秀信+橋本誠二+木本英樹+葛西要 企業組合創和設計

佳作



デービッド・ルイス・ダウ+ペバリー・スガミ・ホレイ カナダ・トロント



萩野恵悟+田路圭輔+三村大介 大阪大学建築学科

## THE 2nd, YOKOHAMA URBAN DESIGN INTERNATIONAL COMPETITION

Theme: Revitalization of the Waterfront  
YOKOHAMA  
KAIGAN DORI

### ●経過

- 11月13日 実行委員会設立総会  
(会長都市計画局長：副会長港湾局長)
- 12月22日 「新建築」(1月号)誌上にて応募要綱発表
- 1月1日 登録受付開始
- 5月7日 登録締め切り
- 5月21日 作品受付締め切り
- 6月7日 審査会
- 6月27日 表彰式・シンポジウム  
(バルセロナ展 ヨコハマ・クリエーション会場)
- 8月1日 「新建築」(8月号)誌上にて結果発表

### ●応募状況

- 登録数 1,388通
- 国内 1,008通
- 海外 380通
- 応募作品 254点
- 国内 191点



- 内訳 東京 75、神奈川 51、千葉 13、大阪 13、埼玉 10、福岡 4、北海道 2、福島 1、新潟 1、鹿児島 1、愛知 4、茨城 1、京都 4、奈良 1、宮城 1、広島 1、富山 1、和歌山 1、岡山 1、兵庫 1、静岡 1、(不明) 3
- 海外 63点
- 内訳 アメリカ 20、中国 17、イギリス 7、西ドイツ 5、ブラジル 3、イタリア 2、大韓民国 2、モナコ 1、ソビエト 1、イタリア 2、アルゼンチン 2、トルコ 2、オーストラリア 1、

